令和6年4月12日

# みょうじょうのことごと

明星神社社務所

今年のサクラの季節も、終盤に近づきつつあります。先月半ばは妙に暖かく、花が開くのが早いのではないかと心配されましたが、月末の寒波で開花が遅れ、新入学や進級の一番良い時期に満開になってくれましたね。新たに、お子さまを学校に送り出す親御さんにとっては、嬉しい今年の春でした。

今回の『みょうじょうのことごと』では、5月5日（祝・日）に予定されています、明星神社の歌の発表会について、お知らせします。

## 【明星神社の歌ができました！】

明星神社関係者としては、明星地区の方々にこのご報告ができることがうれしくてたまりません。このたび、明星神社の歌が完成しました！
その曲名は 明星神社賛歌『明けの星』、なんと明星神社にピッタリの名前ではありませんか。

この曲を作曲してくださったのは、妻ヶ広出身の作曲家で明和町特別観光大使である長岡成貢（ながおか せいこう）さん、作詞してくださったのは、三重と伊勢に深い造詣を有しておられる文筆家で、明星にお住まいの千種清美（ちくさ きよみ）さんのおふたりです。
これほどまでに、明星と深い絆を持たれる方々がこの曲を作ってくださったという事実に対して、驚きとともに「縁：えにし」を感じてしまうのは、私だけではないと思います。

長岡成貢さん

千種清美さん

では、その調べはどのようなものかといえば、とても清らかな印象の心が洗われるような曲調です。テンポもミディアムスローで、たとえて言えば、流れのゆるやかな清流といった感じでしょうか。
でも、この流れはゆるやかなだけではなく、あちこちにきらっと心ひかれる変化もあり、さらに周囲の眺めも楽しめる、といった感じがします。そう言った特徴をもつこの曲は、『明星』という地域の風景を聴くひとにありありと感じさせてくれる、写生的なメロディーだと思います。

そして、この曲が持つ写生の印象をさらに深めてくれるのが、千種さんが創られた歌詞です。次のページにその全文を載せましたが、基本的にわかりやすい言葉の中に少し旧い表現の語を入れることで、言葉に変化とリズムが生まれています。
そして、「鎮守の森のとこみどり」の一節が明星の風景を鮮やかに象徴していて、ここでも写生のイメージが強く生まれています。

【 明星神社賛歌 『明けの星』 】

作詞 ： 千種清美

風そよぐ　風そよぐ
鎮守の森のとこみどり
春には早苗のうすみどり
秋には稲穂のこがねいろ

鳥のさえずり
虫の音よ
鎮守の森のとこみどり

星降るや　星降るや
里の空のすがすがし
夕方 西にゆうずつが
明け方 東にあかぼしが

明るく輝く
星一つ
里の空のすがすがし

明るく輝く
星一つ
鎮守の森のとこみどり

この写生的な歌を歌い上げてくださるのが、松島史奈さんです。
俳優であり、歌手であり、さらに明和町観光大使でもある松島さんは、三重大学教育学部音楽学科声楽コースの卒業生なのです。
その凛として透明感あふれる声質は、この曲にまさにあつらえたかのようであり、『明けの星』が持つ世界観をさらにあざやかに描き出してくださることでしょう。

でも、そんな風に言われたって、曲を実際に聴いたことがないからわからないですって？

はい、その通りですよね。
ですので今回、『明けの星』の発表会を行うことにしました。

松島史奈さん

## 【『明けの星』発表会について】

明星神社賛歌『明けの星』の発表会は、下記の通りに開催します。

-日時：令和6年5月5日（祝・日）　午前10時より

-場所：明星神社 拝殿前

-演奏メンバー
歌　　：松島 史奈（まつしま ふみな）
フルート　：黒田 由樹（くろだ ゆき）
ヴァイオリン　：趙 賢真　（ちょう ひゅんじん）
キーボード　：長岡 成貢（ながおか せいこう）

当日は、先ず明星神社のご祭神へ その賛歌である『明けの星』の奉納祭事を執り行い、そのあとに皆さまに曲をご披露をいたしますので、予定としては1時間程度の行事になるものと考えています。
また、当日は当神社でライブ映像の撮影を行います。また、マスコミの取材等もあるものと思われますので、その点ご承知おきください。

当日の参観は無料です。整理券の配布等も予定はしておりませんので、お気軽に当神社までおいでいただき、明星神社と『明けの星』の世界をお楽しみください。

以上